

平成29年4月28日

報道関係各位

島原・天草一揆後の島原移住に関する古文書を新発見！

このたび、南島原市では、島原・天草一揆後の島原移住に関する古文書を新たに発見しました。

この古文書は、寛永4年（1627）の「南蛮流医薬書」と慶長18年（1613）「阿波郡新開見付之帳（あわぐんしんかいみつけのちょう）」の2つから成り立っています。長崎県内でも数少ない慶長・寛永期の古文書として大変貴重なものです。それだけではなく、いずれも島原・天草一揆より10年、20年以上前のものです。一揆の後、荒廃した島原半島にどのような地域から人々が移り住み立て直していったのか、現在の島原半島の成り立ちを考える上でも重要な古文書でもあります。

5月8日(月)には、記者会見を行い、史料を公開し担当職員が説明します。
※史料の公開は原則記者会見のときのみになります。会見以降の撮影については、担当（南浦）までお問い合わせください。

記

記者会見

- 日時 5月8日(月)午前10時～正午
- 場所 南島原市役所南有馬庁舎3階大会議室
- 出席者 南島原市長
南島原市教育委員会教育長
南島原市教育委員会教育次長
教育委員会文化財課長
教育委員会文化財課 文化財調査員



紙背に書かれた「阿波郡新開見付之帳」



表紙

担当部署	教育委員会文化財課	担当者	南浦 利早
直通	0957-73-6705	E mail	bunkazai@city.minamishimabara.lg.jp
詳しくは 	検索ワード		
担当者 連絡先			